おおきなかぶ

伊藤貴晴　作

【登場人物】

 女１

 女２ おばあさん

 男１ おじいさん

 男２ キリン

 その他 観客

女１ ただ今から、観客参加型アミューズメントお芝居、「おおきなかぶ」を上演いたします。上演に先立ちまして、皆様にお願いがございます。まず、携帯電話、ＰＨＳ、ハーモニカやトランペットなど音の出る機器はあらかじめ電源を切っておいて下さい。会場内の飲食は自由ですが、役者に食べ物を与えたりしないで下さい。それから、今回上演するのは観客参加型アミューズメントお芝居です。つまり、皆様にも協力していただきます。まず、えーと、うん、お前。ちょっとこっちに来て。ここに座って

 観客を一人中央に座らせる。

女１ あなたは今からおおきなかぶです。何があっても絶対に動いてはいけません。皆様に諸注意がございます。彼に食べ物を与えてはいけません。物を投げつけるのは構いません。皆様、これから彼がどんなかわいそうな目に遭うか想像できたと思います。かわいそうですね。でも油断してはいけません。他の皆様にも参加してもらいます。いつだれが犠牲になるのか、それはその時になってみないと分かりません。それでは開演です。観客参加型アミューズメントお芝居「おおきなかぶ」

 女１、一度退場。女１、女２登場。女２は絵本のようなものを持っている。

女２ えー？　こんな話じゃなかったっけ？

女１ 絶対違うよ

女２ 違うって言われても、私これしか知らないもん

女１ おかしいよ、その話

女２ そう？　でもおおきなかぶは出てくるよ

女１ そりゃそうでしょ。「おおきなかぶ」だもん

女２ じゃあ合ってる

女１ 合ってない。何でそんな変な登場人物ばっかり出てくるの？

女２ 変かな？

女１ 変。「おおきなかぶ」は、おじいさんとおばあさんが出てきて

女２ おじいさんとおばあさんは出てくるよ

女１ そこまではいいの。後は犬とか猫とかネズミとかじゃなかったっけ？

女２ え？　そうなの？

女１ その本、何が出てきたっけ？

女２ えっとね、おじいさんとおばあさんと、熊とキリンとペンギンと森の動物達

女１ それっておかしいでしょ？

女２ おかしいかな？

女１ おかしいよ。何で熊とかキリンとか

女２ 熊は森にいるんだよ

女１ キリンは森にいない

女２ ペンギンは？

女１ ペンギンもいない

女２ 怒らなくてもいいじゃない

女１ だっておかしいんだもん

女２ （歌う）ある日、森の中、熊さんを、殴った♪

女１ 殴っちゃダメでしょ

女２ 熊さんは赤ずきんちゃんに出会うんだよ

女１ それって狼じゃないの？

女２ え？　熊でしょ？

女１ 狼だよ

女２ 違うよ熊だよ。殴られた熊が怒って赤ずきんちゃんを食べちゃって、それを猟師が鉄砲で撃って煮て焼いて食べるんだよ

女１ 絶対そんな話じゃない

女２ 小さい頃、本で読んだんだけど

女１ おおきなかぶも？

女２ うん

女１ その本どうしたの？

女２ 小さい頃にお父さんが買ってくれたの

女１ 作者、イトウタカハル。頭おかしいんじゃないの？

 女１、本を読み出す。

女１ 昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。ある日おじいさんはかぶの苗を植えました。かぶはすくすくと育ち、一晩でおおきなおおきなかぶになりました

女２ ねぇねぇ女１

女１ 何？

女２ かぶがあるよ

女１ え？

 二人、おおきなかぶを見つける。

女２ ほら、かぶだよ

女１ うん、かぶだね

女２ 大きいよ

女１ うん、大きいね

 間。

女１ そこへおじいさんがやってきました

 男１登場。

男１ さてさて、昨日植えたかぶの苗はどうなったかの

女２ あ、おじいさんだ

女１ 嘘

男１ ほぉー、こりゃ大きくなって。農薬と化学肥料が効いたな

女１ このおじいさん、無農薬野菜とか作らないんだ

女２ 体に悪そうだね

男１ どれ、抜いてみようかね

女１ おじいさんはかぶを抜こうとしました。でもかぶはおおきくて抜けません

男１ うーん、うーん。ダメだ、一人じゃ抜けんなぁ

女１ おじいさんはおばあさんを呼びました

男１ おーい、ばあさんや

女２ はーい

女１ え？

男１ おお、ばあさん。かぶを抜くのを手伝ってくれ

女２ 分かりました

女１ あんた何？

女２ おばあさんデス

女１ 何で？

男１ よし、一緒に引っ張るぞ

女２ はい

 男１と女２でかぶを抜こうとするが抜けない。

男１ ダメだな

女２ 援軍を呼ぼう

 男１と女２、女１を見る。

女１ 私はやらないわよ

女２ やろうよ

女１ 嫌。おじいさんは熊を呼びました

女２ わーい、熊

男１ おーい、熊ー

 間。

女２ 出てこないよ

男１ 仕方ないな、呼びに行くか。おい、熊、早く来い

 観客から一名拉致。

男１ 自己紹介しなさい

 熊に自己紹介させる。

男１ よし、せーので引っ張るぞ。せーの

女１ しかしかぶは抜けません

女２ 抜けないね

男１ 困ったな

女１ おじいさんはキリンを呼びました

男１ よし、じゃあキリンを呼ぼう

男１・女２　おーい、キリンー

 返事がない。

男１ あれ？　どうしたんだ？

女２ キリンさーん、ごはんですよー

 男２登場。

男２ ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん……あれ、ごはんは？

男１ キリン！

男２ は！　何でありますか、隊長！

男１ このかぶを抜け！

男２ は！　了解であります！

 男２、かぶを抜きにかかる。

女１ 何こいつ、ウザいよ

女２ がんばり屋さんなんだね

女１ こいつ、何？

男１ キリンだよ

女１ 首、長くないよ

男１ 首が長いだけがキリンだと思うなよ

女１ 首が長くないとキリンじゃないでしょ

男２ 隊長！　抜けないであります！

男１ 抜けるまで続けろ！

男２ は！

女２ 確かに、首、短いね

女１ でしょ？

男１ 言われてみればそうかな

女２ 伸ばせるかな？

男１ どうだろう？おい、キリン！

男２ は！

男１ お前はキリンだな？

男２ は！　そうであります！

男１ だったら首を伸ばせ！

男２ は！　了解であります！

 男２、首を伸ばそうとする。

男２ 隊長！　できません！

男１ 何！　できないだと！　貴様それでも軍人か！

男２ 申し訳ありません！

男１ できないって

女１ ダメね

女２ 何とかして伸ばせないかな

女１ 引っ張ってみたら？

男１ そうだな。おい、熊。キリンの首を引っ張ってみなさい

女１ 熊はキリンの首を力いっぱい引っ張りました。キリンは悲鳴を上げました

女２ 抜けないね

女１ 抜くんじゃないよ、伸ばすんだよ

女２ あ、そっか

男１ 抜くのは首じゃなくてかぶだよ

女２ 無理すると折れちゃいそうだね

女１ いいじゃん、折っちゃえば

男１ よし、貴様の首を折る！

男２ やめて下さい、痛いであります！

男１ 痛いくらい何だ！　貴様それでも軍人か！

男２ 申し訳ありません！

男１ 仕方ない、作業に戻れ！

男２ 隊長、質問があります！

男１ 何だ？

男２ 自分のごはんはどこにあるのでしょうか？

男１ そんなものはない！

男２ は！

 男２、かぶを抜きにかかる。

男１ なかなか抜けないな

女２ そうだね

女１ そこでおばあさんはペンギンを呼びました

女２ ペンギンさーん

 間。

女２ 出てこないですね。ペンギンさんは、あなたです

 観客から拉致。

女２ 自己紹介して下さい

 ペンギン、自己紹介する。

女１ ペンギンじゃないじゃん

男１ 何を言う。どこからどう見てもペンギンじゃないか

女２ そうだよ

女１ どこが？

男１ よし、ちょっとペンギンらしく歩いてみなさい

 ペンギン、ペンギンの真似をして歩く。

男１ ほら、ペンギンっぽいだろ

女１ ぽいって言ってる時点で違うじゃない

女２ 上手よ

女１ ほめるな

男１ じゃあ鳴いてごらんなさい

 ペンギン、「ペンギン」と鳴く。

男１ ほら、まるでペンギンじゃないか

女１ ペンギンはそんな風に鳴かない

女２ 上手よ

女１ ほめるな

男１ よし、じゃあみんなでかぶを引っ張るぞ

 みんなでかぶを引っ張る。しかしかぶは抜けない。

女２ 抜けないね

男１ 困ったな。おい、キリン！　誰が休んでいいと言った！

男２ は！　申し訳ありません！

 男２だけかぶを引っ張る。

女２ 全然抜けないね

男１ 諦めようか？

女１ それでいいの？

男１ いいんじゃないの？

女１ おじいさんはかぶを抜くのを諦めました。おしまい

女２ おしまいなの？　もうちょっとがんばろうよ

女１ しかしおばあさんは諦めが悪かった

女２ ダメだよ。このかぶは切り刻んで漬物にするんだから

男１ でも全然抜けないんだよ

女２ 無理矢理言うことを聞かせればいいんじゃない？

男１ どうするんだ？

女１ 殴ればいいんじゃないの？

男１ そうだな。よし、熊。殴ってみなさい。キリン、邪魔だ！　どけ！

男２ は！　申し訳ありません！

女１ 熊の攻撃。しかしかぶには効かなかった

男１ よし、ペンギン。行け

女１ ペンギンの攻撃。しかしかぶには効かなかった

男１ なかなか手強いな。仕方ない、みんなでやるぞ

女１ 全員の攻撃。かぶは不気味に笑っている

男１ くそ、ダメか

女２ 私がやるわ

女１ おばあさんはかぶをくすぐりました。かぶは笑いをこらえている

男１ しぶといな

男２ 隊長、もう諦めた方がいいんじゃないでしょうか

男１ 諦めるだと！　貴様それでも軍人か！

男２ 申し訳ありません！

男１ 大和魂を忘れたのか！

男２ 申し訳ありません！

男１ 貴様など袋叩きにしてくれるわ！

男２ 勘弁して下さい！

女２ ねえ、おじいさん。かぶはどうしよう？

男１ 仕方ない、奥の手だ。森の動物達を呼ぼう。おーい、みんなー

女１ おじいさんは助けを呼びました。森の動物達が現れました。全員立って下さい

 観客、全員起立。

男１ よし、キリンを袋叩きにしろ！

女１ 森の動物達は力を合わせてキリンを袋叩きにしました

女２ 違うよ、おじいさん。かぶを抜くんだよ

男１ そうか、間違えた。よし、みんなでかぶを抜くんだ

女１ 森の動物達はみんなで力を合わせてかぶを殴ったり蹴ったりくすぐったりしました。かぶを倒しました

男１ やった、倒したぞ

女１ みんなは喜びを分かち合いました。拍手

男１ よし、食べるぞ

女２ 今夜はごちそうね

男２ ごはんだ

 何人かでかぶを担いで連れ去る。

女１ こうして、みんなでおいしくかぶを食べました。めでたしめでたし。……変な話

女２ そうかな？

 終わり。